

想定した品目

すいか半促成

1. 技術体系の特徴

品目	家族労働力	品目・栽培型及び規模			経営・技術の特徴			
すいか半促成	人	すいか半促成			a	1. パイプハウス栽培 2. 中トンネルにより保温 3. 誘引、整枝、交配作業等の徹底 4. 選別調整は委託		
	2				50			
		経営耕地面積	水田	100				
			畑	50				
経営目標	1	農業総収入	6,343	千円	4	1日当たり農業所得	4,614	円
	2	農業経営費	5,024	千円	5	1人当たり年間労働時間	1,144	時間
	3	農業所得	1,319	千円				

2. 資本装備と減価償却費

	種類・規模	数量	型式・構造・能力	所 割	有 合	取得価格	法定 耐用 年数	年 間 償 却 額
						千円	年	千円
建物・施設	ビニールハウス	5	連棟標準型(AP)ハウス 5,000㎡	1		33,180	8	2,074
	かん水施設	1	かん水施設 5,000㎡	1		1,408	7	101
	育苗ハウス	1	AP単棟ハウス 200㎡	1		784	8	49
	作業及び収納舎	1	軽量鉄骨 60㎡	1		2,640	24	110
	農機具倉庫	1	軽量鉄骨 20㎡	1		880	24	37
	計						38,892	
農機具	トラクター	1	20PS	1		1,817	7	130
	動力噴霧機	1	可搬式	1		213	7	15
	管理機	1	6.2PS	1		200	7	14
	トラック	1	軽トラック	1		807	4	101
	計						3,036	

3. 技術体系（すいか半促成）

(10a当たり人、時間)

作業の種類	栽培技術		作業体系				使用資材	技術の重要事項
	技術内容	作業時期	使用機械器具	組み作業人員	実作業時間	延べ作業時間		
(育苗) 床土づくり	床土積み 切り返し 床土消毒	4~11月	トラック トラクタ 管理機	1	30	30	堆肥 1t 石灰質資材 15kg リン酸質資材40kg 油カス 20kg	土:堆肥=1:1 10a当たり 1~1.5m ² pH6.0~6.5に矯正する 床土消毒は県病害虫防除基準による
育苗床設置	は種床設置 移植床設置	12月中		2	12	24	育苗箱 25個 12cmポット 800個	は種床 7m ² 移植床 50m ²
は種		12月下 ~1月上		1	3	3	種子量 穂木 1,000粒 台木 1,000粒	挿し接ぎの場合は、台木を穂木の5~7日前に播種
接木	挿し接ぎ又は 割り接ぎ 鉢上げ・断根	1月中~下 2月		2 1	13 2	25 2	クリップ 1,000個	26~28℃に保温し、湿度を高めて接ぎ木の活着を促す
管理	かん水 換気・温度管理	12月下 ~2月中		1 1	8 10	8 10		活着後は陽光に当てる
病害虫防除	薬剤散布	12月下 ~2月中	動力噴霧機	1	1	1		県病害虫防除基準による
(本ぼ) 耕うん整地	耕起整地	12月下	トラクタ	1	4	4	堆肥 2t 石灰質資材 100kg リン酸質資材30kg	深耕及び有機質の施用
土壌消毒		12月下	土壌消毒機	2	3	6		県病害虫防除基準による
保温施設組立て	ビニール張り	1月上	トラック	4	9	36	ビニール一式	
施肥	基肥施用	1月上 ~1月中	トラック トラクタ 管理機	2	2	4	N 22kg P ₂ O ₅ 20kg K ₂ O 22kg	Nの分施割合 基肥65% 追肥35% 追肥は着果確認後に施用する

(10a当たり人、時間)

作業の種類	栽培技術		作業体系				使用資材	技術の重要事項
	技術内容	作業時期	使用機械器具	組み作業人員	実作業時間	延べ作業時間		
定植準備	うね立て 配管 マルチ 内トンネル	1月中	管理機	2 2 2 2	3 3 4 12	6 6 8 24	ポリフィルム700m かん水チューブ 700m	
定植		2月中	トラック	2	4	8		栽植密度 うね幅2.7m×株間50cm 10a当たり 740株 本葉4～4.5枚で定植する 地温15から16℃以上を確保 浅植える
整枝・誘引	摘心・整枝 誘引	2月下 ～5月中		2	14	28		本葉5枚残して摘心し、子づる3～4本仕立てとする。 着果節位までの孫づるは除去する
温度管理	保温、換気	2月下 ～6月中		1	29	29		二重カーテン設置 昼間 25～28℃ 夜間 15℃以上に保温
かん水		2月下 ～6月中	かん水施設	1	9	9		
着果 玉直し	交配 着果標識立て 玉直し	2月下 ～5月中		2	38	75	着果棒 台座 ミツバチ1群	1番果の着果節位:15～20節 果実直径20cm位の頃台座を敷き、玉直しを行う
病害虫防除	薬剤散布	1月中 ～6月下	動力噴霧機	2	8	16		県病害虫防除基準による
収穫出荷		5月上 ～6月中	トラック	2	38	76		M級中心に若どりする 取扱は丁寧に行う
後かたづけ		6月中 ～6月下	トラック トラクタ	2	10	20		
計						458		購入苗利用の場合は、 355時間

4. 品目の作付体系(○:は種、△:定植、◇:被覆、□:収穫)

品目(作型)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
すいか(半促成)	○—	△—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○—

5. 作業別・旬別労働時間(10a当たり時間)

品目・作業/月・旬	1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		計		
	上	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下				
育苗管理	3	18	13	5	4			12											2			6	10	24	6	103	
定植準備	4	6																							10	20	
定植		8																								8	
ビニール被覆等	36	38																								74	
肥培管理		1	1	6	14	10	6	18	17	21	20	2	2												141		
病虫害防除	1		1	1	1	1	1	2	2	2	2	1													16		
収穫出荷									8	8	10	25	25												76		
後かたづけ														20											20		
計	43	71	14	7	10	15	11	6	7	20	29	19	31	28	14	29	26	20			2			10	24	16	458
月計	128			32			24	68	73	75									2		6	6	50				

6. 総労働時間

	1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		計			
	上	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下					
総労働時間	215	355	70	35	50	75	55	30	35	100	145	95	155	140	70	145	130	100			10			30	50	120	80	2290
うち家族労働	215	355	70	35	50	75	55	30	35	100	145	95	155	140	70	145	130	100			10			30	50	120	80	2290
うち雇用労働																												

7. (p223記載)